

第9回太平洋・島サミット(PALM9)首脳宣言(骨子)



令和3年7月
外務省大洋州課

1 概観・PALMパートナーシップと地域のビジョン【パラ1～7】

(PALM: Pacific Islands Leaders Meeting)
(PIF: Pacific Islands Forum)

- PALM首脳は、相互の信頼及び尊重並びに自由、民主主義、人権及び環境の尊重といった共通の価値によって裏打ちされた、この重要なパートナーシップを一層強化することに対するコミットメントを表明。(パラ2)。
- PALM首脳は、太平洋諸島フォーラム(PIF)の「太平洋地域主義のための枠組み」及び日本の「自由で開かれたインド太平洋」の下で示された太平洋地域のためのそれぞれのビジョンについて議論し、自由、民主主義及び法の支配といった共通の価値観並びに共通の優先事項(注: 下記2の重点協力5分野)を認識(パラ3)。
- 菅総理は、PIFの地域主義を強化する取組を歓迎。PIF首脳は、「自由で開かれたインド太平洋」構想に基づき、「オールジャパン」での取組を通じ日本とPIF島嶼国との間の協力を更に強化する「太平洋のキズナ政策」の発表を歓迎(パラ4)。
- 菅総理は、日本がPALM8におけるコミットメントを達成したことを報告し、PIF首脳は謝意を表明(パラ5)。
- 菅総理は、今後3年間のしっかりとした開発協力の継続及び5,500人以上の人的交流・人材育成に対するコミットメントを発表し、PIF首脳は日本の継続的な協力を歓迎(パラ6)。
- PALM首脳は、PALMパートナーシップを強化し、地域のためのそれぞれのビジョンを達成するため、附属文書である、行動指向の「共同行動計画」を承認し、今後3年間、5つの重点協力分野に共に協力していくことに対するコミットメントを表明(パラ7)。

2 重点協力5分野【パラ8～16】

- ① 新型コロナウイルスへの対応と回復—PIF島嶼国の保健医療体制の強化及び経済回復のための支援の重要性を確認。菅総理は、PIF島嶼国に対し、年内に合計300万回分を目処として、7月中旬以降に、COVAX等を通じてワクチンを供与することを表明し、PIF首脳はこれを歓迎(パラ8)。

2 重点協力5分野【パラ8～16】（続き）

- ②法の支配に基づく持続可能な海洋（含：海洋安全保障）— P A L M首脳は、法の支配に基づく自由で、開かれた、持続可能な海洋秩序の重要性、海洋及び海洋資源の持続可能な管理、利用及び保全に対するコミットメントを表明（パラ10）。P I F首脳は、A L P S処理水の東電福島第一原発からの海洋放出に係る日本の発表に関する協議、独立し検証可能な科学的評価等の重要性を強調。菅総理は、A L P S処理水の海洋放出は環境及び人体に実害がないことを確保した上で実施されること、I A E Aと緊密に協力し、科学的根拠に基づく説明を引き続き行っていくことを改めて表明、P I F首脳は、P I F加盟国・地域との緊密な対話の継続に対する日本の意図を歓迎（パラ11）。P A L M首脳は、全ての国が、公海及び排他的経済水域の航行及び上空飛行の自由を含む海洋の利用等において国際法を尊重する重要性を改めて表明（パラ12）。
- ③気候変動・防災—P A L M首脳は、一層の切迫感と野心を持って気候変動に対処する重要性を改めて表明（パラ13）。P A L M首脳は、パリ協定の目標達成に向けた国際場裡での指導的役割強化へのコミットメントを表明。P I F首脳は、カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現、温室効果ガス排出の削減等に向けた挑戦を継続すると菅総理の発表を歓迎（パラ14）。
- ④持続可能で強靱な経済発展の基盤強化—P A L M首脳は、デジタル及び物理的な連結性を含む質の高いインフラ開発、貿易・投資及び観光の促進、地場産業の育成並びに財政の強靱化において、引き続き協力する意図を表明（パラ15）。
- ⑤人的交流・人材育成—P A L M首脳は、活発な人的交流がP A L Mパートナーシップの極めて重要な基盤であることを再確認。人材育成が太平洋島嶼国の長期的で持続可能な成長及び日本とP I F島嶼国との間の絆の強化に貢献することを強調（同パラ16）。

3 国際場裡での協力【パラ17～19】

- PALM首脳は、この夏に安全・安心な形で東京オリパラを開催することに対する支持を表明（パラ17）。
- 北朝鮮への対応（拉致問題を含む）における連携等を再確認。日本の国連安保理常任理事国入りに対するPIF首脳の引き続きの支持に菅総理から謝意を表明（パラ18）。

4 今後の見通し【パラ20】

- PALM首脳は、この重要で持続的なPALMのパートナーシップを継続・強化し、太平洋地域のためのそれぞれのビジョンを共に達成する決意を新たにした。PALM首脳は、日本でPALM10を主催するとの菅総理の提案を歓迎（パラ20）。